

施策評価シート

施策等名称	子育てを通じて学び・育ち合う環境づくりの推進	体系番号	0201010111
		主管課	こども課

1 施策基本情報

現状と課題	様々な学びの場を提供しても関心の高い親と子どもだけが参加する状況が見受けられます。また、一方で子育て支援だけをもちめる親という二極化が懸念されています。 親が子育ての主役になれるように、情報提供や応援・支援を行い、子育てに関係している団体、個人や親同士が繋がれる場、仕組みづくりが必要です。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	地域が子どもを育てる地盤となるように、子どもの健全な成長を願う環境づくりを推進します。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	茅野市・原村青少年健全育成推進大会参加人数の増	参加人数(人)	360.00	500.00
②					
③					

施策の体系	名称	育ちを支える場の提供と支援		主管課	こども課			
		詳細	子育てや生き方の価値観が多様化している今、画一的な子育てではなく、何を大切にすることを考える人が増えてきました。それぞれの価値観を大切にしながら、地域で安心して子どもを産み育てながら、親としても地域を担う一員として成長できる環境が必要です。地域では、行事への参加や協力を通じた人との関わりを深めること重要です。企業に対しては、ワーク・ライフ・バランスを大事にした社会づくりへの協力を求めます。					
	施策の柱 1		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業
		1	茅野市・原村青少年健全育成推進大会参加人数の増	参加人数(人)	360.00	500.00	1 青少年教育費一般事業(茅野市・原村青少年健全育成推進事業)	実施
						500.00	2 男女共同参画推進事業(茅野市はつらつ事業所)	実施
		2					3	
							4	
							5	
							6	
	基本政策間連携							
	施策の柱 2	名称			主管課			
		詳細						
			まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業
		1					1	
							2	
2						3		
						4		
					5			
					6			
基本政策間連携								
施策の柱 3	名称			主管課				
	詳細							
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1					1		
						2		
	2					3		
						4		
					5			
					6			
基本政策間連携								

施策等名称	子育てを通じて学び・育ち合う環境づくりの推進	体系番号	0201010111
		主管課	こども課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	茅野市・原村青少年健全育成推進大会参加人数の増	360.00	300.00	288.00	42.00		
		500.00	60.00	57.60	8.40	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	前年と同様に周知等の準備を進めた結果、大会参加者は前年並みとなった。					
	2019年度	前年と同様に周知等の準備を進めた結果、大会参加者は前年並みとなった。					
	2020年度	Youtubeによる動画配信を行い、会場への参集を必要最低限の人数としたため(最大同時接続者数70人、視聴回数331回)					
	2021年度						
	2022年度						
柱1	茅野市・原村青少年健全育成推進大会参加人数の増	360.00	300.00	288.00	42.00		
1		500.00	60.00	57.60	8.40	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	前年と同様に周知等の準備を進めた結果、大会参加者は前年並みとなった。					
	2019年度	前年と同様に周知等の準備を進めた結果、大会参加者は前年並みとなった。					
	2020年度	Youtubeによる動画配信を行い、会場への参集を必要最低限の人数としたため(最大同時接続者数70人、視聴回数331回)					
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	子育てを通じて学び・育ち合う環境づくりの推進	体系番号	0201010111
		主管課	こども課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	870,504	692,292	474,720	1,333,000	
	うち一財(円)	870,504	692,292	474,720	1,333,000	
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)		新型コロナウイルスの影響により男女共同参画推進会議を開催しなかったことによる委員報酬の減	新型コロナウイルスの影響により男女共同参画推進会議及び推進大会を開催しなかったため。		
進捗評価		おおむね順調	おおむね順調	おおむね順調		
総合評価	主な取組内容や成果	各事業における参加者の立場は違うが、地域ぐるみで子どもが育つ環境を整備していこうという考え方が醸成されていることは、アンケート結果から見て取れる。	各事業における参加者の立場は違うが、地域ぐるみで子どもが育つ環境を整備していこうという考え方が醸成されている。	講演会について、必要最低限の人数を参集したうえで、Youtubeによる動画配信を行うことで、会場に足を運ばずに安心して講演を聴いていたことができた。		
	課題	実績値は過去5年間、軒並み目標値の6割強で推移している。目標達成のためには参加者数を増やすことを念頭に置き、事業を組み立てていく必要がある。	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、今後は開催形態、指標などの見直しが必要である。	講演会について、必要最低限の人数を参集したうえで、Youtubeによる動画配信を行った。		
改革・改善	改革・改善内容	参加者を増やし事業の目標を達成するためには、まずPR活動の徹底を図っていく必要がある。その部分から参加団体や関係団体との協働により進めることで、より効果が高い周知効果が得られる(例:関係団体のブログにイベント情報掲載やラジオ番組出演、SNS利用等。コストかからない)。	講演会をリモート開催するなど、新しい生活様式に合わせた開催方法について関係団体と検討を進める。	講演会について、必要最低限の人数を参集したうえで、Youtubeによる動画配信を行った。		
	重点化する 施策の柱 重点 事務事業	1	1	1		
		1	1	1		
理由	推進大会の開催を通じて、親が子育ての主役になれるように、情報提供や応援・支援を行い、子育てに関係している団体、個人や親同士がつながれる場、仕組みづくりにつなげたいため。	推進大会の開催を通じて、親が子育ての主役になれるように、情報提供や応援・支援を行い、子育てに関係している団体、個人や親同士がつながれる場、仕組みづくりにつなげたいため。	推進大会の開催を通じて、親が子育ての主役になれるように、情報提供や応援・支援を行い、子育てに関係している団体、個人や親同士がつながれる場、仕組みづくりにつなげたいため。			

作成担当者	宮下 孝	宮下 孝	宮下 孝		
最終評価責任者	有賀 淳一	有賀 淳一	有賀 淳一		
最終評価年月日	令和元年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日		